

町指定工芸品文化財

やたいばやし 広木の屋台囃子

7月24日(日)、広木会館において、屋台囃子が演じられました。屋台囃子は、大太鼓1つ、小太鼓3つ、鉦2つによって奏でられ、牡丹に唐獅子の彫刻を飾った屋台の上で、広木の若者が中心となり、五穀豊穡を祈願しながら囃します。

例年は、大勢の参加者により山車が曳き回されて広木の街中をねり歩きますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、規模を縮小しての開催となりました。



※以前撮影された曳き回しの様子

今年も感染症対策の徹底を行い、無事に開催することができました。

ご理解・ご協力いただいた皆さまに感謝申し上げます。

子どもたちが、この行事をとおして、地域や仲間の大切さを学び、また、何かを成し遂げるために自分で努力すること、互いに励まし合い、協力することで、より大きな成果が得られることに気づいてくれると嬉しいです。

来年は、曳き回しができることを切に願っております。広木地区内外を問わず、足を運んでみてください。

ぜひ、お待ちしております。

広木屋台囃子保存会
会長 中兼 敦司

